

## 新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

10月の月間 米山月間  
地域社会の経済発展月間

本日の例会プログラム 第2170回例会 令和5年10月30日

- ・新会員卓話 吉野恒男 会員
- ・会員卓話 安川 潔 会員

## 会長挨拶



井上竜志会長

みなさん、こんにちは。本日は、ガバナー公式訪問例会でございます。はじめに、ゲストの紹介をさせていただきます。2023-2024年度国際ロータリー第2730地区ガバナー池ノ上克様でございます。宮崎ロータリークラブの所属でございます。後ほどアドレスを賜りたいと存じます。どうぞ宜しくお願ひ致します。続きまして、宮崎県中部グループガバナー補佐長嶺貴臣様でございます。宮崎北ロータリークラブの所属でございます。また、随行者といたしまして、宮崎ロータリークラブ所属のお二方いらっしゃっております、地区副幹事でいらっしゃいます、寺坂文博（てらさか ふみひろ）様と、寺原一種（てらはら かずしげ）様でございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。例会終了後にはクラブフォーラムがございますので、最後までよろしくお願ひいたします。

まずは、池ノ上ガバナーの紹介をさせていただきます。池ノ上ガバナーは、1946年1月11日のお生まれで、77歳でございます。昭和45年に鹿児島大学医学部を卒業され、鹿児島市立病院産婦人科に勤務されておりまして、国際ロータリー財団奨学生として南カルフォルニア大学産婦人科へ留学されております。その後帰国され、平成2年に鹿児島市立病院産婦人科部長に就任されました。平成3年以降宮崎にこられ、宮崎大学産婦人科教授、宮崎大学医学部長、宮崎大学理事・医学部付属病院長を経て、平成27年には宮崎大学長に就任されておられます。

そして、令和3年に宮崎市市郡医師会病院特別参与に就任され、現在に至っております。

## 出席委員会報告

井野元孝洋委員長

## ●出席状況

## 本日状況

会員数	54名
本日欠席者数	6名
本日出席者数	48名
出席率	88.89%

## 前々回修正出席状況

マークアップ数	2名
修正出席率	77.36%
マークアップされた方(敬称略)	井野元孝洋 杉本英一

ニコニコ BOX	0件 累計 42,000円	0円
----------	---------------	----

募金箱	8,437円 累計 65,561円
-----	-------------------

ロータリー歴は、平成8年入会で2013-2014年度会長をされておられます。また、地区役員も2020-2021年度には、米山奨学会副部門長、米山寄付推進委員会副委員長をされておられました。その他、ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー、ベネファクター、米山功労者でいらっしゃいます。後ほどアドレスにてお話を賜りたいと存じます、宜しくお願ひ致します。

さて、このように 池ノ上ガバナーをお迎えした公式訪問が、無事に開催できることを大変うれしく思っております。また、今年度になりました今まで、会員増強委員長をはじめ、会員様のご協力のおかげで、3名の会員が仲間に加わり、ますます南ロータリーが活性化していくことも重ねて大変うれしく、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。ぜひ、この公式訪問の機会に、池ノ上ガバナーに宮崎南ロータリーの良さ、活発な活動を伝えられればと思います。最後までどうぞ、よろしくお願ひいたします。

## ゲスト

池ノ上 克 ガバナー（宮崎RC）  
長嶺 貴臣 ガバナー補佐（宮崎北RC）  
寺坂 文博 地区副幹事（宮崎RC）  
寺原 一種（宮崎RC）

## ビジター紹介

薗田有美会員（宮崎RC）

## 幹事報告

村野 裕幹事



- ・海ごみ問題コロキウムについて  
10月21日にオルブライトホールにて開催されました。当クラブの提唱 インターアクトクラブ、宮崎鵬翔高校の学生3名も登壇し、素晴らしいコロキウムになりましたことをご報告いたします。
- ・地区大会について  
当地区の池ノ上ガバナーより地区大会お礼の レターが届いております。  
皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。



- ・九州4地区合同公共イメージ向上事業について  
10月28日10:00～18:00宮崎市内各所にてポリオ撲滅の募金活動や池ノ上ガバナーのメッセージ動画が流されます。お時間あられる方はご参加頂けたら幸いです。
- ・「アフガニスタンの現状」パートIIについて  
宮崎アカデミーロータリークラブより、上記のコロキューム開催の案内が来ております。  
10月29日13:00～15:30 宮崎大学 創立330記念交流会館にて。  
時間あられる方はご参加頂けたら幸いです。

## 親睦委員会

長澤好太郎委員長



宮崎南RC親睦ゴルフコンペのご案内  
日時：令和5年12月10日(日)  
ご集合 8時00分  
スタート 8時51分  
場所：ハイビスカスゴルフクラブ  
当日は懇親会を行いますので、ゴルフをされない会員もぜひ参加をお願いします。

## ●バナー交換



## ガバナーアドレス

国際ロータリー第2730地区 2023-2024年度

ガバナー 池ノ上 克(宮崎RC)



国際ロータリー 2023-2024年度ガバナーの池ノ上克（つよむ）です。私は昭和21年1月に鹿児島市内で生まれました。生後3ヵ月の時、父の仕事の関係で移住した長崎県で高校までを過ごしました。昭和39年に鹿児島大学医学部に入学し、市内の西千石町にあった母の実家から通学をつづけ、昭和45年に卒業しました。その後は鹿児島市立病院の産婦人科に勤務していました。その間3年半はカルフォルニアの大学での周産期医学の勉強のために留学しましたが、合計26年間の鹿児島生活を送ったことになります。平成3年に縁あって当時の宮崎医科大学産婦人科に赴任しましたが、それ以来宮崎で仕事を続けています。

この度山ノ内文治直前ガバナーの後を受けて、国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

新たに国際ロータリーの会長に就任したスコットランドのゴードンマッキナリーさんは、今年度の国際ロータリーのテーマを「Create Hope In The World : 世界に希望を生み出そう」とされました。アメリカのフロリダ州オーランドで2023年1月8日から12日にかけて行われた国際ロータリー協議会の初日の講演で、このテーマが力強く宣言されると、会場につめかけた世界中のロータリー関係者はスタンディングオベーションでこれを受け止めました。

講演の中で、ゴードンマッキナリー会長は、2004年に東南アジアを襲った大津波の時、被害

を受けたタイの村で、ロータリアンとして復興作業に当たられたそうです。全てを失って憔悴した老婦人から、「皆さんのお手伝いで、生きる希望がわいてきました。お礼に私が30年来大切にしてきたものを差しあげます」といって美しい貝殻を渡されたそうです。その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がったと説明されました。そしてテーマとなった「世界に希望を生み出そう」の言葉もそこから生まれて来たのだそうです。

さらに、マッキナリー会長は希望を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるもので、私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇気が必要であるとも強調されました。

自然災害や戦禍にみまわれ、つらい思いをしている世界の人々にとって、希望を生み出すことの大切さが強調された講演でした。幸いにもその時会場に居合せた私はとても感動してお話を聞くことができました。

ゴードンマッキナリー会長のRIのテーマを受けて、私たちの国際ロータリー第2730地区の今年度のテーマは「平和を求める、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」としました。また、基本方針はロータリーの「継続と変化」および「メンタルヘルスへの取り組み」の2本柱としました。

ロータリーは継続と変化を基本にして、常に前に進んでいます。私たちの地区の各クラブや

各グループの活動も継続と変化およびメンタルヘルスの維持を基本に、ガバナー補佐の方々との連携を密にして、それぞれに独自の形で進めていただきたいと期待しています。

継続と変化の対象になる主な項目には、ローターアクトクラブとの協力体制の強化、女児のエンパワーメント、DEIの推進、ポリオ根絶などが挙げられます。

そしてその行動計画の実行については、各クラブやグループのこれまでの経緯と成果があると思われますので、それを引継ぎながら、最近の社会的変化に応じた活動を目指していただきたいと思います。クラブが独自に計画して実行しておられるプロジェクトや、米山記念奨学会への寄付、青少年育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践などが含まれます。ロータリー賞獲得への積極的なチャレンジも期待したいと思います。

メンタルヘルスについてマッキナリー RI会長がロータリーに向けて初めて示された取り組みです。RI2730地区としても活動を始めたいと思います。自分自身や社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見を無くし、同僚や親しい人に何か心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇気をお互いに持ちたいと思います。メンタルヘルスの健全性とその維持は希望を生み出す原点となるものです。

皆様のご支援をいただきながら、2023-2024年度は平和を求める、希望あふれる、明るいロータリーライフにしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

